

横浜ビジネスグランプリ 2019 受賞者決定

～ 女性が最優秀賞を初受賞！ ～
～ 全受賞者が女性となることも初！ ～

平成31年2月23日(土)、横浜市西区みなとみらいのランドマークホールで250名以上の来場者を迎え「横浜ビジネスグランプリ2019」を開催しました。

今回は全国から一般部門82件、学生部門35件の合計117件の応募があり、選考を通過したファイナリスト10名(学生部門3名、一般部門7名)が最終のプレゼンテーション審査に臨みました。

最優秀賞は「次世代型植物活性化剤の探索・評価サービス」(横浜バイオテクノロジー(株)小倉里江子氏)が受賞し、横浜ビジネスグランプリとして初めて女性が最優秀賞を受賞しました。

さらに、一般部門優秀賞、学生部門優秀賞、女性起業家賞、来場者の投票によるオーディエンス賞のすべての受賞者が女性となり、全受賞者が女性となったのも初めての事です。

今後はファイナリストをはじめとする応募者に対して、財団の各種事業を通して事業化を後押しすることで、市内の起業・創業を促進してまいります。

【横浜ビジネスグランプリ2019 受賞者】

(敬称略)

賞	受賞者	所属	プラン名
最優秀賞 (賞状・副賞100万円)	小倉 里江子	横浜バイオテクノロジー(株)	次世代型植物活性化剤の探索・評価サービス
一般部門優秀賞 (賞状・副賞50万円)	金子 章子	(株)Aventino	女性の髪のセルフケア支援プラットフォーム
学生部門優秀賞 (賞状・副賞30万円)	加藤 早織	国土館大学	施設の子どもたちへ、将来の選択肢の広がりを
女性起業家賞 (賞状・副賞50万円)	桑子 和佳絵	プログス	保育士のキャリアデザインサポートサービス
オーディエンス賞(賞状)	加藤 早織	国土館大学	施設の子どもたちへ、将来の選択肢の広がりを

「横浜ビジネスグランプリ2019 グランプリファイナル」

日時 平成31年2月23日(土) 13:30~17:15 (交流会 17:30~18:30)

会場 ランドマークホール

主催 公益財団法人 横浜企業経営支援財団

共催 横浜市経済局

後援 関東経済産業局

公益財団法人神奈川産業振興センター

公益財団法人川崎市産業振興財団

公益財団法人相模原市産業振興財団

公益財団法人湘南産業振興財団

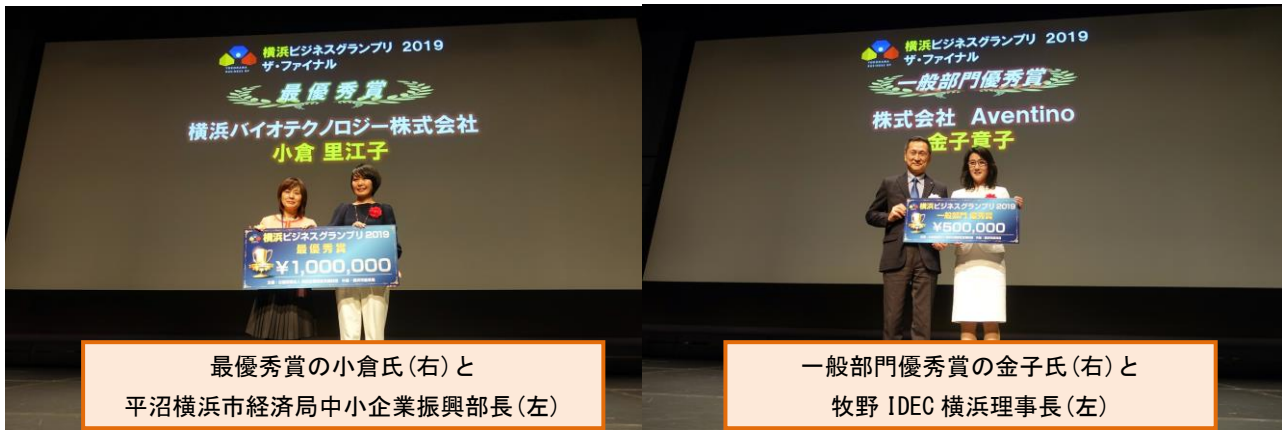
日本政策金融公庫 横浜支店



裏面あり

お問合せ先

(公財)横浜企業経営支援財団 経営支援担当部長 坂本 徳博 Tel 045-225-3714



最優秀賞の小倉氏(右)と
平沼横浜市経済局中小企業振興部長(左)

一般部門優秀賞の金子氏(右)と
牧野 IDEC 横浜理事長(左)



学生部門優秀賞の加藤氏(右)と
平沼部長(左)

女性起業家賞の桑子氏(右)と
平沼部長(左)

ファイナリスト・審査員、
主催者、共催者の集合写真

横浜ビジネスグランプリ2019 ファイナリスト一覧

【一般部門】

(50音順、敬称略)

No.	プラнтаイトル	会社名	応募者名
1	災害時グルテンフリー低糖質保存食品開発	低糖質の焼き菓子工房・あんな	穴澤 百合子
2	1家に1台自給自足型ソーラー発電システム	株式会社マステック	江本 雅文
3	OSMで歩くアーストレッキングナビ	朝日マップ株式会社	遠藤 久資
4	次世代型植物活性化剤の探索・評価サービス	横浜バイオテクノロジー株式会社	小倉 里江子
5	女性の髪のセルフケア支援プラットフォーム	株式会社 Aventino	金子 章子
6	保育士のキャリアデザインサポートサービス	プログス	桑子 和佳絵
7	「好きを定量化」出会のサポートアプリ		脇坂 健一郎

【学生部門】

(敬称略)

No.	プラнтаイトル	学校・学部名	応募者名
1	C for C～肢体不自由者と古着～	国士舘大学 経営学部	大島 敬一郎
2	施設の子どもたちへ、将来の選択肢の広がりを	国士舘大学 経営学部	加藤 早織
3	不眠大国日本の睡眠不足を改善	東京理科大学 工学部	水野 勇望

【横浜ビジネスグランプリとは】

平成15年より開始し、今回21回目を迎えるビジネスプランコンテストです。
横浜で新たな価値を創造するような製品・サービスの提供を目指す起業家やベンチャーを発掘し、IDEC横浜の持つ支援メニューを最大限活用することで横浜市内における起業・創業を促進する事業です。
今回は全国から一般部門82件、学生部門35件の合計117件の応募があり、書類審査およびプレゼンテーション審査を通過した学生部門3件、一般部門7件の計10件のファイナリストが最終のプレゼンテーション審査に臨みました。